



南小だより

鶴岡市立櫛引南小学校

発行日 令和5年8月28日

「挑戦」「成長」の2学期に！

例年以上に暑い暑い夏でしたが、学校にまた子ども達の元気な声が帰ってきました。夏休み期間中は、保護者の皆さま、地域の皆さまから温かい目で子ども達を見守っていただきありがとうございました。おかげさまで大きな事故もなく無事に過ごすことができました。厚く御礼申し上げます。

8月24日の始業式の日には、久しぶりに子ども達の元気な姿を見ることができ、とてもうれしく感じたところです。始業式で子ども達に話したことの一部をここで紹介させていただきます。

【8月24日 始業式講話】

今日は、「及位 ヤエ」(のぞき やえ)さんという女性パイロットのお話をします。

ヤエさんは、今から100年ほど前の大正時代に秋田県に生まれました。小学校の時にお父さんの仕事の関係で鶴岡市に引っ越してきて、今の朝陽第四小学校で子ども時代を過ごしました。その頃に仲の良かった男の子の影響で、飛行機の模型づくりに夢中になりました。その後、今の鶴岡北高校に進学し、「空を飛んでみたい」「パイロットになりたい」という夢を持つようになったのだそうです。しかしその頃の日本には、まだ女性パイロットはほとんど見られず、「飛行機にかかわる仕事は男の仕事」というそんな時代でした。

ヤエさんは、高校を卒業すると東京に出て就職しました。しかし、空を飛ぶ夢があきらめられず、当時千葉県にあった航空学校へ入学しようと考えました。しかし、両親から猛烈な反対を受け、なかなか入学を認めてもらえませんでした。ヤエさんはあきらめずに何度も何度も両親を説得し、ようやく1年後に入学することができました。ヤエさんは、少ない時間で資格を取ろうと必死で勉強し、教官も驚く早さで飛行操縦士の資格を取ることができたのだそうです。

でも、女性飛行士の仕事はなく、どうしても飛行機に乗りたくて、日本で最初の「エアガール」(今の客室乗務員)になりました。その後も、新しい操縦免許や無線通信士などの資格を取るなど努力を続けました。そして時代が変わり、ヤエさんにもとうとう操縦士としての仕事がやってきました。長年の夢をかなえることができたのです。

しかし、ヤエさんの挑戦はまだ続きます。56歳の時に女性だけのチームで小型機で日本一周飛行を成し遂げたり、59歳の時には日本人女性として初めてアメリカ大陸横断レースに参加したりしたのです。ヤエさん達女性パイロットをモデルにしたドラマも制作されました。NHKの朝ドラ『雲のじゅうたん』です。(50代以上の方ならご存知ではないでしょうか?)

ヤエさんの生き方からいろいろなことを感じられると思うのですが、わたしは「挑戦」という言葉を感じ取りました。今日から始まる2学期、ぜひ皆さんからもいろいろなことに挑戦をしてほしいと思います。大きな挑戦でなく小さな挑戦でもいいのです。前にもお話しましたが、挑戦して上手くいくこともあれば、上手くいかないことや失敗もあります。でも、挑戦し続ける人には必ず「成長」があります。2学期自分が頑張りたいことやめあてを考え、挑戦してみてください。必ず成長も見られるはずですよ。皆さんの挑戦する姿、成長する姿を楽しみにしています。

1年の中で最も長い2学期は、日々の学校生活に加え、たくさんの行事等も控えています。ですから、子ども達が成長する機会やチャンスもたくさんあります。目標を持ち、目標に向かって精一杯活動したり、友だちとかかわり合いながら活動したりする経験を通して、今の自分より少しでも成長できることを願っております。まだまだ暑い日が続きますが、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



校長 岡部 貞二